

株式会社 因幡電機製作所

「でんき」と「あかり」の
提供が使命

納期
相談
コスト
相談
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量
対応



LED道路灯のさがげとなる

業務
内容

高速道路初のLED照明は
研究心と意欲の賜物

「あかり」を提供する照明事業と、「でんき」を配給する配電事業を基軸とする因幡電機製作所。特注照明器具を始め、多岐にわたる注文に応えているうちに照明部門が進化成長し、現在では公園の安全灯や道路灯等、多彩な分野で商品提供できるようになった。

「当初は道路灯のボールを中心に製造し、大手メーカーに納入していましたが、首都高速に設置するLED道路灯製造業務の受注をきっかけに、本格的に照明の研究・開発に取り組み始めたのです」と川口社長。当時はまだ、LEDは明るさ不足という認識が一般的だったそうだ。使用開始は平成21年3月。これが高速道路初のLED照明となった。

環境
対策

LEDと自然エネルギーで
エコロジーを実現

その後、地球環境に優しいLED道路灯が需要を増大させていく中、大阪府が他の都道府県にさきがけて、LEDの認定制度を設けた。さまざまな厳しい規格条件をクリアし初年度に認定されたのはわずか4社。その中に同社の商品も選ばれ、LED道路灯の分野で名を広めた。現在は、国土交通省による規格も制定されているが、同社の商品ラインナップは、国内すべての道路にLED道路灯として供給が可能だ。また、太陽光発電と風力発電を組み合わせて、昼のうちに蓄電し、夜になると自動的に点灯する「風あかり」も開発。風車が回る音が静かで、風速2〜

3mの微風でも発電するため、町の中でも使用できるのが特長だ。公共施設を始め、大型ショッピングモール、山上の施設等に納入している。

強み

設計・開発から製造
販売まで一貫して手掛ける

同社では照明用ボールの生産も行なっているため、照明器具と一体で生産できるのが大きな強みだ。

また、配光測定器といった設備が充実している上、長年続けてきた照明実験による研究成果がある。さらに、照明開発部門とボール開発部門を羽曳野工場に集結させたことにより、技術の共有化と意志決定の迅速化が図れるようになり、開発効率が格段にアップした。



羽曳野工場に照明とボール部門を結集

今後の
展望

もっと明るいLED照明を
もっと低価格で

今後は、LEDの長寿命という特性を活かし、メンテナンスが難しい箇所の製品に取り組んでいきたい意向の同社。例えば高天井に設置する照明等は、広い空間を照らすには、明るさの向上が欠かせず、数量も必要だ。少しでも低価格で実現するため、設計からの自社開発、納入ルートの見直しを行なっている。

安価で高品質なLED電灯をつくるには、部品の値段・寿命・性能のバランスが重要。より一層の研究が求められる中、日々研鑽を続けている。

COMPANY PROFILE

株式会社因幡電機製作所

大阪
24
ISO 9001
ISO 14001

当社の
歴史

昭和13年に創業の後、いくつかの変遷を経て昭和37年に現会社組織として設立。今年で50周年を迎えます。当初は関西の官公需に対応する地域産業の会社でしたが、東京オリンピックを契機に東京へ進出。広範な民間施設へと事業を展開させました。当社の原点である「地球環境とひと」の発想のもと、豊かな想像力と確かな技術力にさらなる研鑽を重ね、精進いたします。

でんき・あかりの未来を担うべく、品質・環境
管理を始め、あらゆる分野で一流に！

代表取締役社長 川口 久美雄さん



■主な事業内容

受配電盤・分電盤の
製造・販売、照明器具・
照明用ボールの
製造・販売等

■主な取引先(納入先)

照明器具メーカー、
電材業者、電気工事
業者等

住 所／〒550-0012
大阪市西区立売堀3-1-1
大阪トヨペットビル6F
TEL／06-6532-2301
FAX／06-6532-2307
創 業／昭和13年4月
設 立／昭和37年5月
資本金／1億3,000万円
従業員／251名

<http://www.inaba.com>